



# JR九州グループの会社説明会

**九州旅客鉄道株式会社**

(東証プライム・福証／証券コード 9142)



# 本日お伝えしたいこと

## JR九州グループについて

- JR九州グループのあゆみ
- JR九州グループの事業構成

## JR九州の経営戦略

- JR九州グループ経営理念
- JR九州グループ中期経営計画2025-2027

## 決算ハイライト ・ 株主還元

- 2026年3月期第3四半期連結決算ハイライト
- 2026年3月期通期連結業績予想
- 株主還元方針
- 株主優待制度



# JR九州グループについて

JR九州グループのあゆみ

JR九州グループの事業構成



# JR九州グループについて

JR九州グループのあゆみ

JR九州グループの事業構成



## JR九州グループのあゆみ

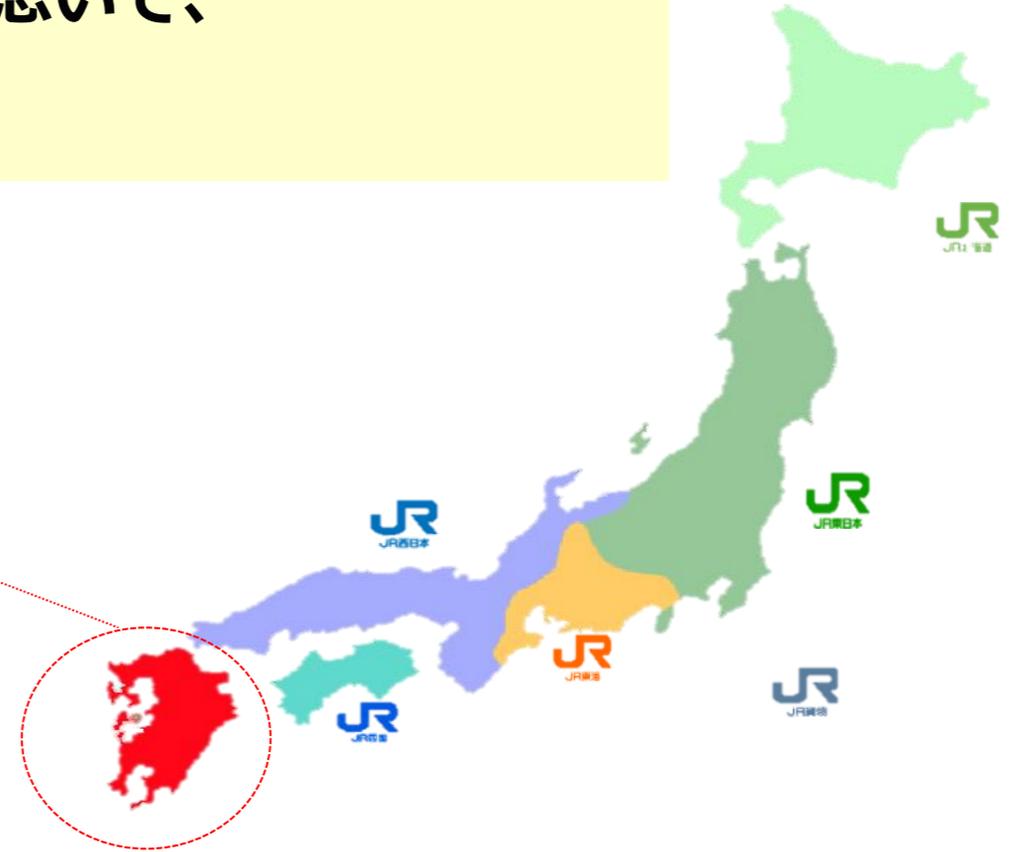
「日本国有鉄道」の分割民営化によりJR九州が発足

### ■ あらゆる事業に挑戦する精神

「鉄道事業だけに依存してはいけない」という思いで、  
様々な事業に挑戦し成長を実現してきた



**JR**  
JR九州  
**1987**





## JR九州グループのあゆみ（JR九州を表す数値）



年間輸送人員(鉄道・バス)  
3.3億人

JR九州レールパスご利用者  
95の国と地域

従業員数(単体)  
7,614名

グループ会社  
42社

連結営業収益  
4,543億円



## JR九州グループのあゆみ（JR九州を表す数値）



駅ビル入場者  
50万人/日

流通・外食店舗数  
548店舗



分譲マンション竣工戸数  
10,357戸

ホテル宿泊者  
5千人/日



# JR九州グループのあゆみ

地域を元気にするという思いのもと鉄道事業と関連事業の両輪であらゆる価値を創出

## ●鉄道事業



### (D&S列車)

- ・ 1989年の特急「ゆふいんの森」の運行を皮切りに、現在では、10本のD&S列車（デザイン&ストーリー列車（観光列車））を運行
- ・ 2024年4月に「かんぱち・いちろく」がデビュー



### (ななつ星 in 九州)

- ・ 2013年に日本で初めてのクルーズトレインとして誕生
- ・ 米国出版大手コンデナスト社の旅行誌の読者投票では「世界の豪華列車」部門で3年連続世界トップに選ばれる



### (九州新幹線・西九州新幹線)

- ・ 2011年に九州新幹線（博多～鹿児島中央）が全線開業し、JR博多シティとの相乗効果で当社の成長はさらに加速
- ・ 2022年に西九州新幹線が開業し、西九州エリアの活性化を後押し



# JR九州グループのあゆみ

地域を元気にするという思いのもと鉄道事業と関連事業の両輪であらゆる価値を創出

## ● 関連事業



### (不動産・ホテル)

- ・ 1989年に初の分譲マンション販売を開始
- ・ 1992年に「ホテルブラッサム福岡」を開業  
現在、九州・沖縄、京都、東京、タイにて、20のホテルを展開
- ・ 1997年に初の駅ビル事業であるアミュプラザ小倉が開業  
現在、九州の県庁所在地を中心に駅ビルを7箇所を展開
- ・ 2021年に物流事業へ参入  
現在、九州内で物流不動産を9件稼働中、6件の開発に着手

### (流通・外食)

- ・ 2002年には、飲食店「うまや」を東京・赤坂に開業するなど、東京、九州で外食事業も展開

# JR九州グループのあゆみ(「ななつ星 in 九州」運行10周年)





# JR九州グループについて

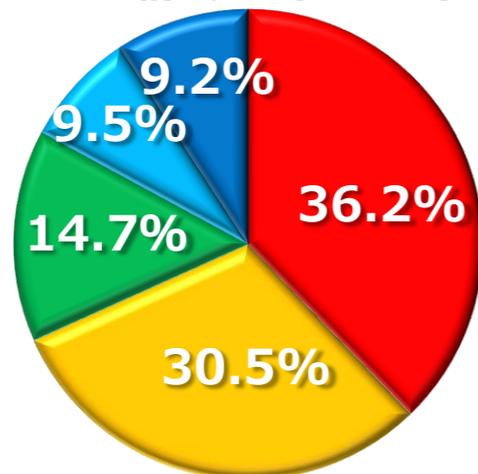
JR九州グループのあゆみ

JR九州グループの事業構成

# JR九州グループの事業構成

- JR九州グループは、九州全域に鉄道網を有する鉄道をコア事業とする企業グループ
- 駅ビルやホテル、マンション、建設、流通や外食事業など、鉄道事業との相乗効果が  
高い領域を中心にその事業領域を拡大
- 鉄道以外の事業による売上が**約6割**となっており、事業の多角化が進んでいる

【セグメント別 売上構成比（2025年3月期）】



不動産・ホテル



運輸サービス



流通・外食



建設

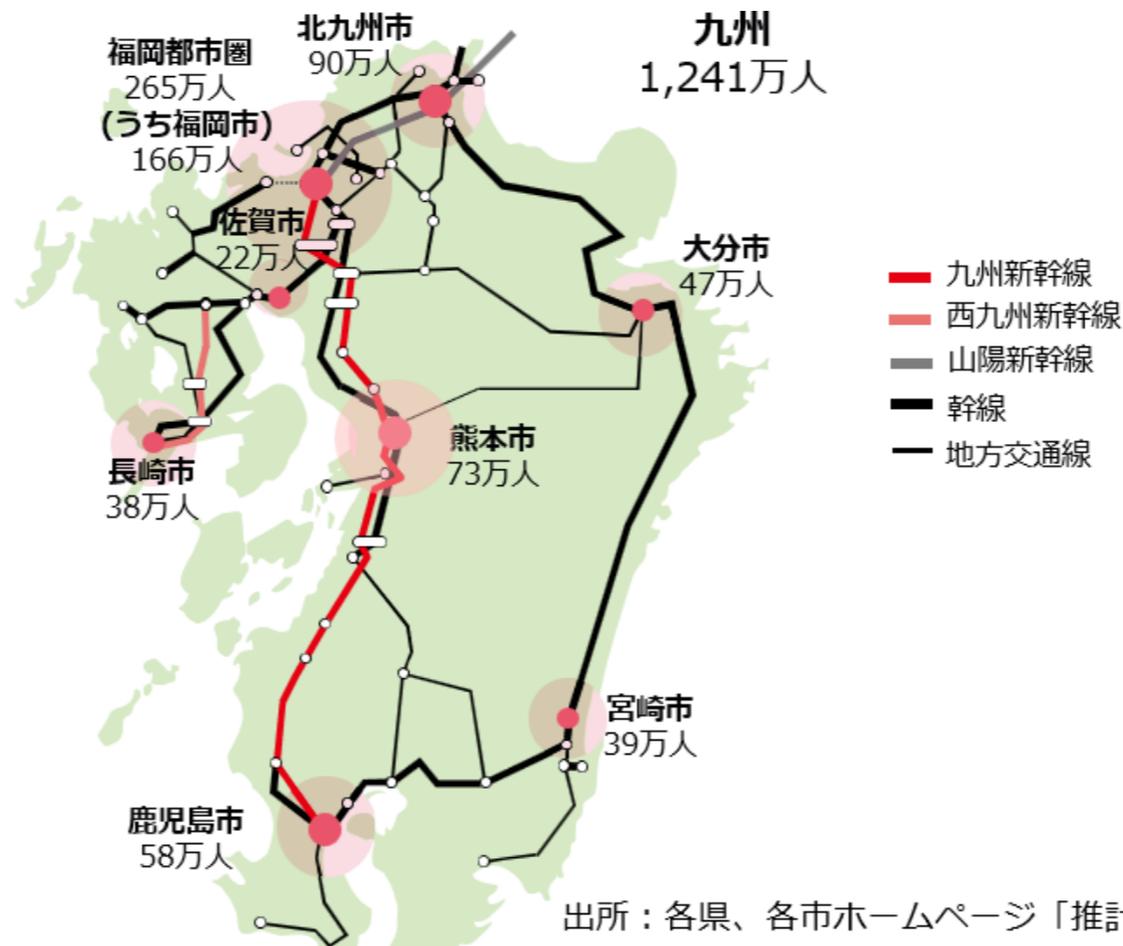


ビジネスサービス



# JR九州グループの事業構成(全国屈指の経済基盤を有する九州)

- 九州は『日本の1割経済』という位置付け(域内総生産、総人口、総面積、事業所数等)
- 福岡市及びその周辺は人口増加が見込まれる成長性の高い都市
- 40万人以上の人口を有する都市が九州全体に分散
- 九州は人口減少が進んでいるものの、強固な経済基盤を有している





# JR九州グループの経営戦略

JR九州グループ経営理念

JR九州グループ中期経営計画2025-2027



# JR九州グループの経営戦略

JR九州グループ経営理念

JR九州グループ中期経営計画2025-2027



## 九州の元気を、世界へ

魅力あふれるまちづくりを通じて、  
九州をもっとにぎやかに、もっとおもしろく。  
九州に住む人、九州を訪れる人、  
そして JR 九州グループをご利用の  
世界中の人を元気にしていきます。



# ★ JR九州グループ経営理念

わたしたちの夢

## 九州の元気を、世界へ

魅力あふれるまちづくりを通じて、九州をもっとにぎやかに、もっとおもしろく。

九州に住む人、九州を訪れる人、そしてJR九州グループをご利用の世界中の人を元気にしていきます。

### 使命

安全を最優先し、  
お客さま視点で考え、  
安心して快適な毎日と  
“わくわく”するときをつくる。

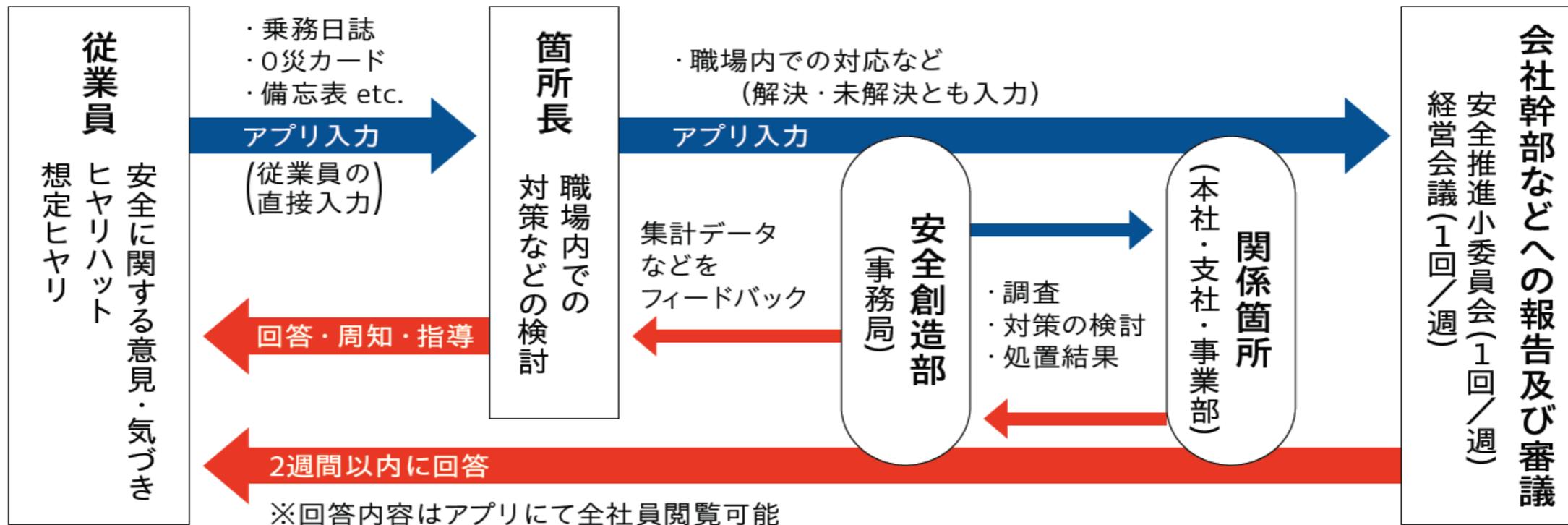
### おこない

- 誠実** 常に誠実さを貫き、自分に、そして社会に誇れる仕事をする。
- 共創** 人や地域、多様な仲間と未来につながる価値を共創する。
- 挑戦** 柔軟な発想を持ち、成長のための挑戦を続ける。

# 安全の創造

JR九州グループが最優先すべきは「安全」

## 「安全に関する社員の声」のフロー



## 「安全に関する社員の声」による改善事例

2024年度  
安全に関する社員の声  
**16,616件**

### 声の内容

八幡駅にて、ホームから線路内に立ち入るお客さまを確認。現場を確認すると線路沿いにあるフェンスが一部なく、外からも出入り可能な状態であった。



### 対策

お客さまが線路内に立入できないように、空いていた隙間にPCフェンスを設置しました。



# 企業CM「九州の元気を、世界へ」



九州の元気を、世界へ





# JR九州グループの経営戦略

JR九州グループの経営理念

JR九州グループ中期経営計画2025-2027



# JR九州グループ中期経営計画2025-2027

経営環境の変化を踏まえ、長期的な視点での持続的な成長に主眼を置いた計画を策定

重点戦略

①サステナブルな  
モビリティサービスの  
実現

②事業間連携の  
強化によるまちづくり

③未来への種まき

経営基盤

労働市場の変化を  
踏まえた人的資本拡充

環境課題への  
統合的なアプローチ

DX活用範囲の  
拡大と深掘り

グループガバナンス強化・適切なリスクテイクを可能にするガバナンス体制構築

# JR九州グループ中期経営計画2025-2027

## 数値目標

営業収益 **5,300** 億円 営業利益 **710** 億円

EBITDA **1,150** 億円 ROE **現行水準の維持**

## セグメント別目標\*

(単位:億円)

| セグメント名   | 営業収益  | 営業利益 |
|----------|-------|------|
| 運輸サービス   | 1,890 | 205  |
| 不動産・ホテル  | 1,670 | 340  |
| 流通・外食    | 800   | 40   |
| 建設       | 1,100 | 80   |
| ビジネスサービス | 880   | 55   |

\*セグメント毎の営業収益・営業利益はセグメント間取引消去前

## キャッシュアロケーション



## 財務健全性(2027年度見通し)

D/EBITDA 5倍程度

自己資本比率 40%程度



# JR九州グループ中期経営計画2025-2027

経営環境の変化を踏まえ、長期的な視点での持続的な成長に主眼を置いた計画を策定

重点戦略

①サステナブルな  
モビリティサービスの  
実現

②事業間連携の  
強化によるまちづくり

③未来への種まき

経営基盤

労働市場の変化を  
踏まえた人的資本拡充

環境課題への  
統合的なアプローチ

DX活用範囲の  
拡大と深掘り

グループガバナンス強化・適切なリスクテイクを可能にするガバナンス体制構築

# 重点戦略① サステナブルなモビリティサービスの実現 | 鉄道の自動運転区間拡大

- 2024年3月、香椎線にて「GOA2.5※自動運転」を国内で初めて開始。
- 既存設備を活用することで導入コストを抑えながら、安全性の向上をはじめ、今後懸念される「なり手不足解消」、「養成費コスト削減」につなげる。
- 2025年12月には、GOA2.0※自動運転を本格導入（鹿児島本線 門司港～荒尾、日豊本線 小倉～宇佐）  
2027年末にはGOA2.5自動運転区間拡大を目指す（鹿児島本線 門司港～小倉、日豊本線 小倉～宇佐）



自動運転乗務員

自動運転  
GOA2.5

自動運転乗務員(社内資格)が乗務する自動運転  
緊急時には自動運転乗務員が緊急停止操作、避難誘導などを行う



自動運転  
GOA2.0

運転士(国家資格)が乗務する自動運転  
緊急時には運転士が緊急停止操作、避難誘導などを行う

# 重点戦略① サステナブルなモビリティサービスの実現 | 未来鉄道・お客さまへの提供価値向上

## 任天堂とのタイアップ

### PIKMIN×JR九州

実施期間:2024年12月~2025年6月



### ラッピングトレイン乗車効率

885系⇒ +10.7%  
787系⇒ + 7.4%

※各車両形式の全体の乗車効率とラッピングトレインの乗車効率を比較

### スーパーマリオ×JR九州 ~Let's GO KYUSHU!~

実施期間:2025年11月~2026年6月



### 【実施予定】

駅前広場でのイベント  
ラッピングトレインの運行  
グッズ販売  
デジタルスタンプラリー  
など

## 次世代案内システムによる運行情報提供



- 1月26日から、WEBブラウザアプリ上で、「JR九州トレインナビ」による運行情報の提供を一部区間で開始

### 本サービスの機能

- ① 列車の時刻表とのりば
- ② 停車駅の確認
- ③ リアルタイムな列車位置
- ④ 列車の遅れ・変更情報

## 重点戦略② 事業間連携の強化によるまちづくり | 新たな会員ランクサービスの開始

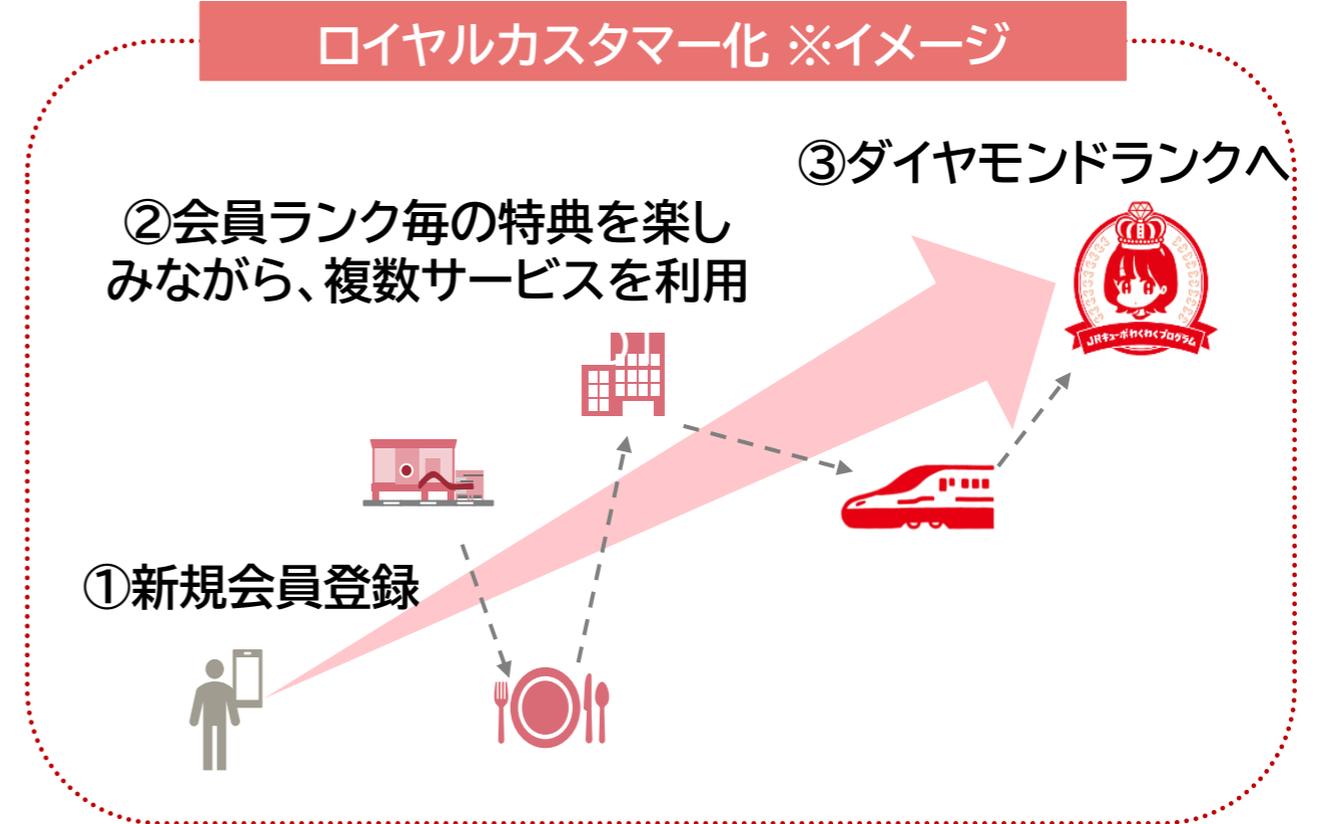
- 当社グループの複数サービスを高頻度で利用する、高いロイヤリティのお客さまを増やすことを目指し、2026年4月1日から新しい会員ランクサービス「JRキューポわくわくプログラム」を開始
- JRキューポを起点とした事業間連携強化により、コングロマリット・プレミアム創出に取り組む

### ロイヤルカスタマー化の推進

- サービス対象をすべてのJR九州Web会員へ拡大し、新たな会員ランクサービスを開始
- 会員ランクに応じた魅力的な特典や、それぞれのお客さまに適したサービスの提案等を実施。事業間での相互送客による、ロイヤルカスタマー化を推進
- ひとりあたりの利用金額・利用サービスの増により、コングロマリット・プレミアムを創出



### ロイヤルカスタマー化 ※イメージ



## 重点戦略② 事業間連携の強化によるまちづくり | 新たな会員ランクサービスの開始

- 当社グループの複数サービスを高頻度で利用する、高いロイヤリティのお客さまを増やすことを目指し、2026年4月1日から新しい会員ランクサービス「JRキューポわくわくプログラム」を開始
- JRキューポを起点とした事業間連携強化により、コングロマリット・プレミアム創出に取り組む

### サービス対象

JR九州Web会員  
約450万人  
※2025年12月末現在

旧会員ランクサービス  
対象  
「JRキューポアプリ」  
利用者  
約85万人  
※2025年12月末現在

### 会員ランク



### 主な特典

#### <ダイヤモンドランクの例>

- ・ 鉄道乗り放題きっぷ進呈
- ・ ホテルペア宿泊招待券進呈
- ・ ポイントを駅ビルプレミアムクーポンに交換可能
- ・ ポイント付与率アップ 等

### ランク評価軸

- ・ 年間獲得ポイント数
- ・ 年間利用サービス数
- ・ おまとめ登録(JQ CARD、SUGOCAの登録状況)
- ・ 鉄道の利用金額(上位2ランク到達条件に設定)

# 重点戦略② 事業間連携の強化によるまちづくり | 豊肥本線エリアのまちづくり

- 半導体企業の集積により、交流・沿線人口の増加が見込まれる
- 新駅～原水駅間を対象としたまちづくりの検討や、肥後大津駅近接のオフィスビルの開発に取り組む

## (仮称)原水駅周辺土地区画整理事業

- 当社を含むコンソーシアム(代表企業:三井不動産株式会社)が事業認可までの要件整理を担当する事業検討パートナーに選定。菊陽町が描く将来ビジョンの具体化を検討。



|       |  |
|-------|--|
| 委託期間  | 2026年3月31日まで                                 |
| 対象エリア | 新駅～原水駅間の約70ha                                |
| その他   | 今後、事業認可後の土地開発等を担当する事業推進パートナーの公募が行われる予定(時期未定) |

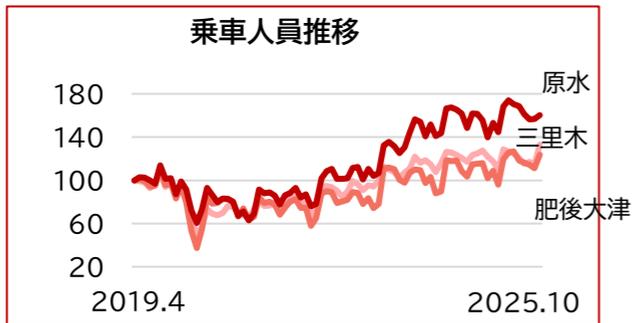
## (仮称)JR肥後大津ビル開発計画

- 半導体サプライヤーをはじめとした企業の拠点を想定。
- 肥後大津駅から徒歩2分  
TSMC熊本工場も位置する、  
セミコンテックパークまで車で約8分  
竣工 : 2027年1月(予定)  
延床面積 : 約9,212㎡

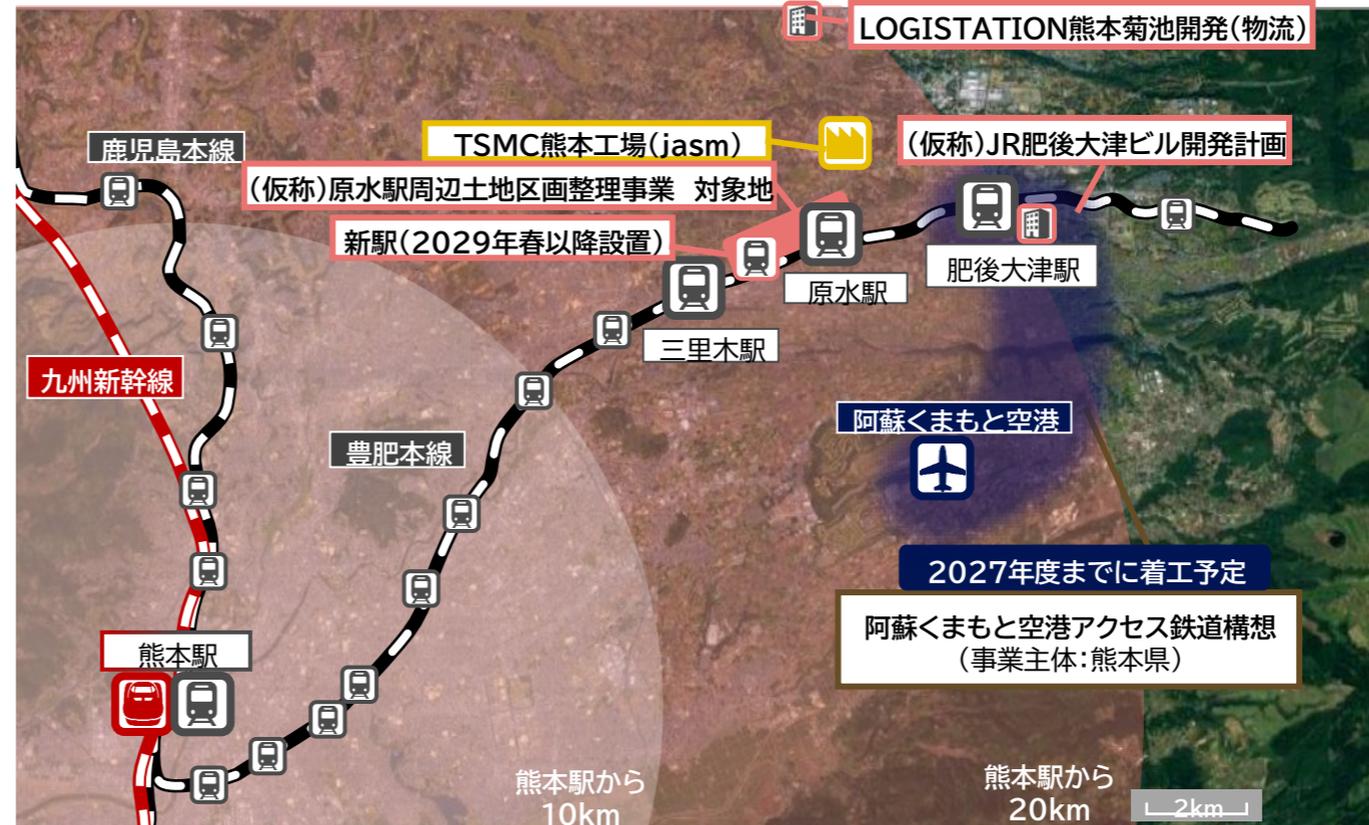


## TSMC熊本工場(第1工場)

所在地 : 熊本県菊陽町  
稼働時期: 2024年12月～  
その他 : 第2工場は第1工場周辺にて建設中。



※2019年4月の乗車人員=100として指数化



画像 ©2024 TerraMetrics, Airbus, Google、地図データ©2024 Google



# 重点戦略③ 未来への種まき | 新たな事業機会の創出 + レジリエンスの強化

## SkyDriveと 資本業務提携

九州における「空飛ぶクルマ」の  
社会実装に向けた取り組みを加速



## エキスペリサスと 資本業務提携

九州における高付加価値な  
旅行体験の創出を加速





# 決算ハイライト・株主還元

2026年3月期第3四半期連結決算ハイライト

2026年3月期通期連結業績予想

株主還元方針

株主優待制度



# 決算ハイライト・株主還元

2026年3月期第3四半期連結決算ハイライト

2026年3月期通期連結業績予想

株主還元方針

株主優待制度

# 2026年3月期第3四半期連結決算ハイライト

●運賃・料金改定による鉄道旅客運輸収入の増加や、不動産販売収入が増加したことなどにより、営業収益は対前年増収、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益は対前年増益

(単位:億円)

|                       | 2025年3月期<br>3Q累計実績 | 2026年3月期<br>3Q累計実績 | 対前年  |        |
|-----------------------|--------------------|--------------------|------|--------|
| 営業収益                  | 3,219              | 3,600              | 381  | 111.8% |
| 営業利益                  | 496                | 627                | 130  | 126.3% |
| 経常利益                  | 499                | 630                | 131  | 126.2% |
| 特別損益                  | 4                  | △ 84               | △ 88 | -      |
| 親会社株主に帰属する<br>四半期純利益  | 373                | 408                | 34   | 109.2% |
| EBITDA <sup>(※)</sup> | 770                | 912                | 141  | 118.4% |

※EBITDA=営業利益+減価償却費(転貸を目的としたリース資産に係る減価償却費除く) 以下、全て同様です。

# 2026年3月期 連結通期業績予想ハイライト

- 2025年11月5日公表の予想から変更なし
- 上期までの状況や下期の需要等を業績予想へ反映し、営業収益、営業利益、経常利益は上方修正、親会社株主に帰属する当期純利益は下方修正

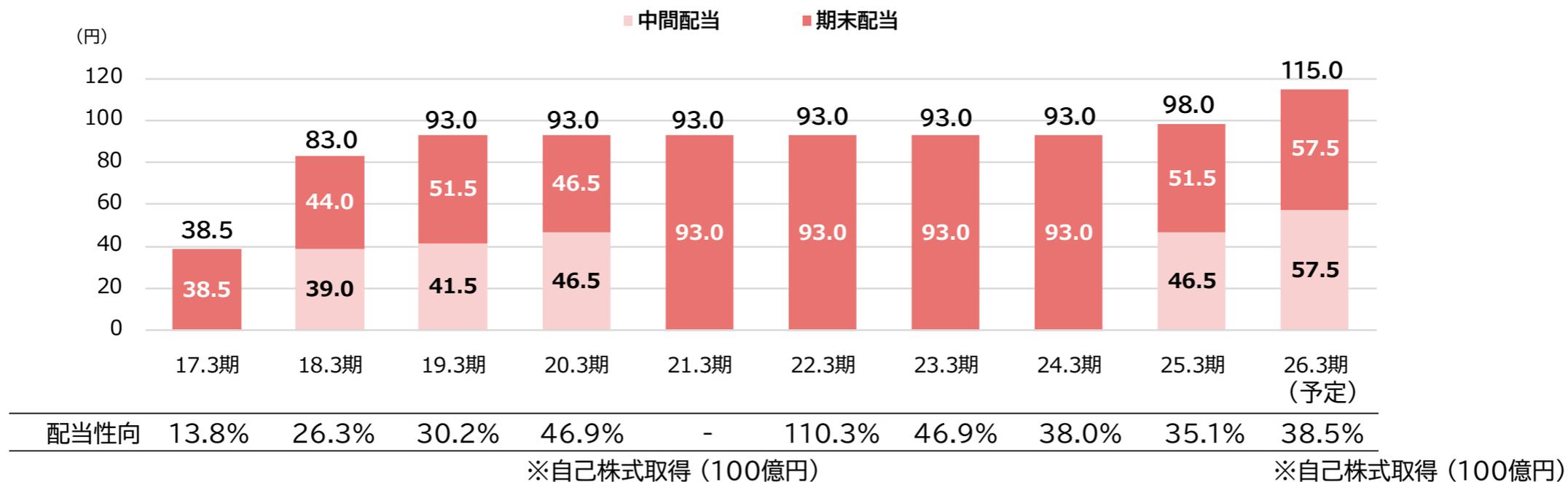
(単位:億円)

|                     | 2025年3月期<br>実績 | 2026年3月期<br>通期予想 | 対前年 |        | 中期経営計画<br>2025-2027<br>数値目標 |
|---------------------|----------------|------------------|-----|--------|-----------------------------|
| 営業収益                | 4,543          | 4,891            | 347 | 107.6% | 5,300                       |
| 営業利益                | 589            | 731              | 141 | 123.9% | 710                         |
| 経常利益                | 595            | 723              | 127 | 121.4% | —                           |
| 親会社株主に帰属する<br>当期純利益 | 436            | 460              | 23  | 105.4% | —                           |
| EBITDA              | 959            | 1,120            | 160 | 116.7% | 1,150                       |

# 株主還元について

- 株主還元は長期安定的に行っていくことが重要と考え、2028年3月期までの間は、連結配当性向35%以上の配当を実施するとともに、機動的に自己株式取得を行う  
(前中期経営計画期間と比較して配当額は増加する見込み)
- 2026年3月期の配当予想は、1株当たり年間配当金115円、中間配当は1株当たり57.5円

(参考)1株当たり年間配当金の推移





# 決算ハイライト・株主還元

2026年3月期第2四半期連結決算ハイライト

2026年3月期通期連結業績予想

株主還元方針

株主優待制度



## 株主優待制度(鉄道株主優待券)

- お一人様1日限り、JR九州管内の快速・普通列車に乗り放題(日田彦山線BRT含む)
- 別途特急券等をご購入いただければ、特急列車・新幹線、D&S列車にもご乗車いただけます。
- 鉄道株主優待券と併用する特急券は、券売機やインターネット予約でも購入いただけます。

<ご利用の際の運賃・料金のイメージ>

博多→鹿児島・指宿温泉へ

(大人お一人さまで九州新幹線自由席、特急「指宿のたまたま箱」指定席、片道利用の場合)

通常料金: 13,750円(運賃: 6,820円、新幹線自由席: 5,150円、特急指定席1,780円)

優待料金: 6,930円(運賃: 0円、新幹線自由席: 5,150円、特急指定席1,780円)

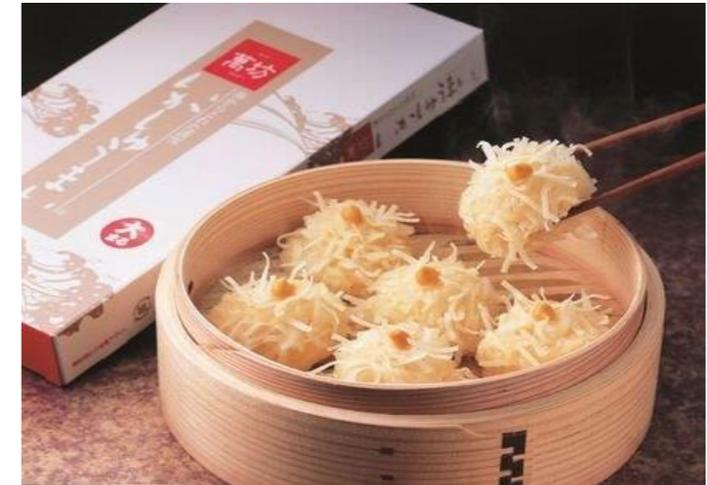




# 株主優待制度(JR九州グループ株主優待券)

2025年7月1日から拡充しました！

- JR九州グループの各利用対象施設で現金同様にご利用可能な2,500円分の金券
- 駅ビル、飲食店、ホテルなど九州・沖縄を中心に、関東、関西の利用対象施設でご利用可能



# 株主優待制度(JR九州グループ株主優待券)

2025年7月1日から拡充しました!

## 「JR九州グループ株主優待券」を電子化

### おすすめポイント

- メリット ① お手元のスマホで簡単に使える!
- メリット ② 1円単位で使える!
- メリット ③ 紛失のリスク低減!
- メリット ④ 紙の使用量削減につながり、環境にやさしい!



### 利用手順





# 株主優待制度(JR九州グループ株主優待券)

2025年7月1日から拡充しました！

JR九州グループ株主優待券の利用対象施設を新規追加

- ※JR九州リテール株式会社が運営する九州のお土産セレクトショップ「銘品蔵」全店舗と
- JR九州フードサービス株式会社が関西地区で運営する「こめらく」を新規追加



博多銘品蔵 博多口店



こめらく 贅沢な、お茶漬け日和。  
阪急西宮ガーデンズ店



# 株主優待制度(長期保有株主優待制度)

2025年7月1日から拡充しました！

長期保有株主優待制度の内容を拡充し継続保有期間を2年に短縮

ご優待内容

「鉄道株主優待券」と「JR九州グループ株主優待券」を追加で発行

発行基準

毎年3月31日を基準日として、500株以上を保有し、かつ100株でも継続して**2年**以上保有

| 所有株式数             | 鉄道株主優待券                    |          | JR九州グループ株主優待券 |           |
|-------------------|----------------------------|----------|---------------|-----------|
|                   |                            | 長期保有株主優待 |               | 長期保有株主優待  |
| 100株～500株未満       | 100株毎に1枚                   | —        | 一律2,500円分     | —         |
| 500株～1,000株未満     | 100株毎に1枚                   | 1枚追加     | 一律2,500円分     | 1,000円分追加 |
| 1,000株～10,000株未満  | 10枚+1,000株超過分<br>200株毎に1枚  | 2枚追加     |               | 2,000円分追加 |
| 10,000株～20,000株未満 | 55枚+10,000株超過分<br>300株毎に1枚 |          |               |           |
| 20,000株以上         | 100枚                       |          |               |           |

例) 2025年3月31日時点での所有株式数が500株以上であれば、直前2年間の保有株式数が500株未満であっても長期保有株主優待の対象となります。

## 社長から皆さまへの動画メッセージ

---

当社グループは「安全を最優先し、お客さま視点で考え、安心して快適な毎日と“わくわく”するときをつくる。」ことを「使命」として、「九州の元気を、世界へ」届けることを「わたしたちの夢」として掲げています。

これらの経営理念の実現を目指し、実行していく戦略として「JR九州グループ中期経営計画2025-2027」を策定しています。

これからも持続的な成長に向けて、積極果敢に挑戦するとともに、当社グループに関わるすべての方の元気をつくることに挑戦し続けることで、中長期的な企業価値向上に努めてまいります。

## ★ 本日のまとめ

### JR九州グループ について

主たる事業フィールドである九州を中心に、鉄道事業のみならず不動産、流通・外食事業等さまざまな分野に進出し、**持続的な成長に向けて積極果敢に挑戦する企業グループ**

### JR九州の 経営戦略

JR九州グループ経営理念を一新するとともに、  
「JR九州グループ中期経営計画2025-2027」を策定。  
「**サステナブルなモビリティサービスの実現**」、「**事業間連携の強化によるまちづくり**」、「**未来への種まき**」を重点的に取組む

### 決算ハイライト ・ 株主還元

- ・ 2026年3月期第3四半期は対前年で**増収増益**  
(営業収益、営業利益、経常利益は過去最高)
- ・ 連結配当性向35%以上の配当を実施し、機動的に自己株式取得を実施  
2026年3月期の配当予想は1株当たり**年間配当金115円**
- ・ 株主優待は2種類 (**長期保有株主優待制度あり**)



# 株主さま向け限定イベントの開催(過去の開催実績)

株主さまに当社事業への理解を深めていただくべく、各種イベントを開催

## 株式上場7周年記念キャンペーン



JR九州社長によるトークショー&「SL人吉」「A列車で行こう」貸切ツアーの様子

## 熊本総合車両所見学ツアー

- 熊本総合車両所にて新幹線の点検行程等を見学



## 九州外で開催のイベント



関東地区(赤坂うまや)にてJR九州社長によるD&S列車のトークショー等を開催

## 株主さま向けメルマガ会員限定イベント



鉄道フェスタ in 南福岡車両区



ミニトマト収穫体験ツアー in 熊本

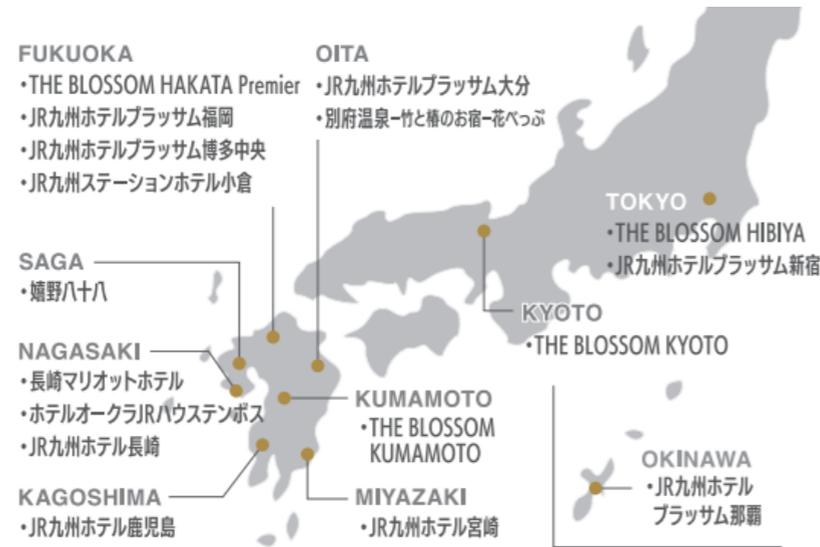


# 株式上場10周年記念キャンペーン

2026年3月末時点で当社株主名簿に記載されている1単元(100株)以上の株式を保有する株主さまを対象に、プレゼントや限定ツアーが当たるキャンペーンを実施します。



## A賞 ホテルペア宿泊券：10名様



## C賞 記念ツアー&社長トークショー：45名様



## B賞 JRキューポ10,000ポイント：100名様



## D賞 「博多大時計」をモチーフにした 懐中時計：20名様



# 株主さま向けメールマガジンのご案内

当社の株主さま向けに月2回程度、IR情報や株主さま限定イベント、アンケート等の情報をお届けいたします

[🏠](#) > [企業・IR・ESG・採用](#) > [IR情報](#) > [IRライブラリ](#) > [個人投資家向け資料](#) > [メールマガジン](#)

## JR九州株主さま向けメールマガジン登録のご案内

JR九州株主さま向けメールマガジンは、当社の株主の皆さまへの情報提供サービスです。以下のバナーをクリックして株主さまの情報をご登録いただきますと、メールで当社の企業情報やキャンペーン情報をお届けします。

※当社の株主さま限定のサービスとなります。

[新規登録（登録料・年会費はありません） >](#)

ご登録はこちら



※本メールマガジンは、トライコーン株式会社のメール配信ASPサービス「クライゼル」を採用しており、申込受付フォームは「クライゼル」のサイトとなりますので予めご了承ください。



よくあるご質問



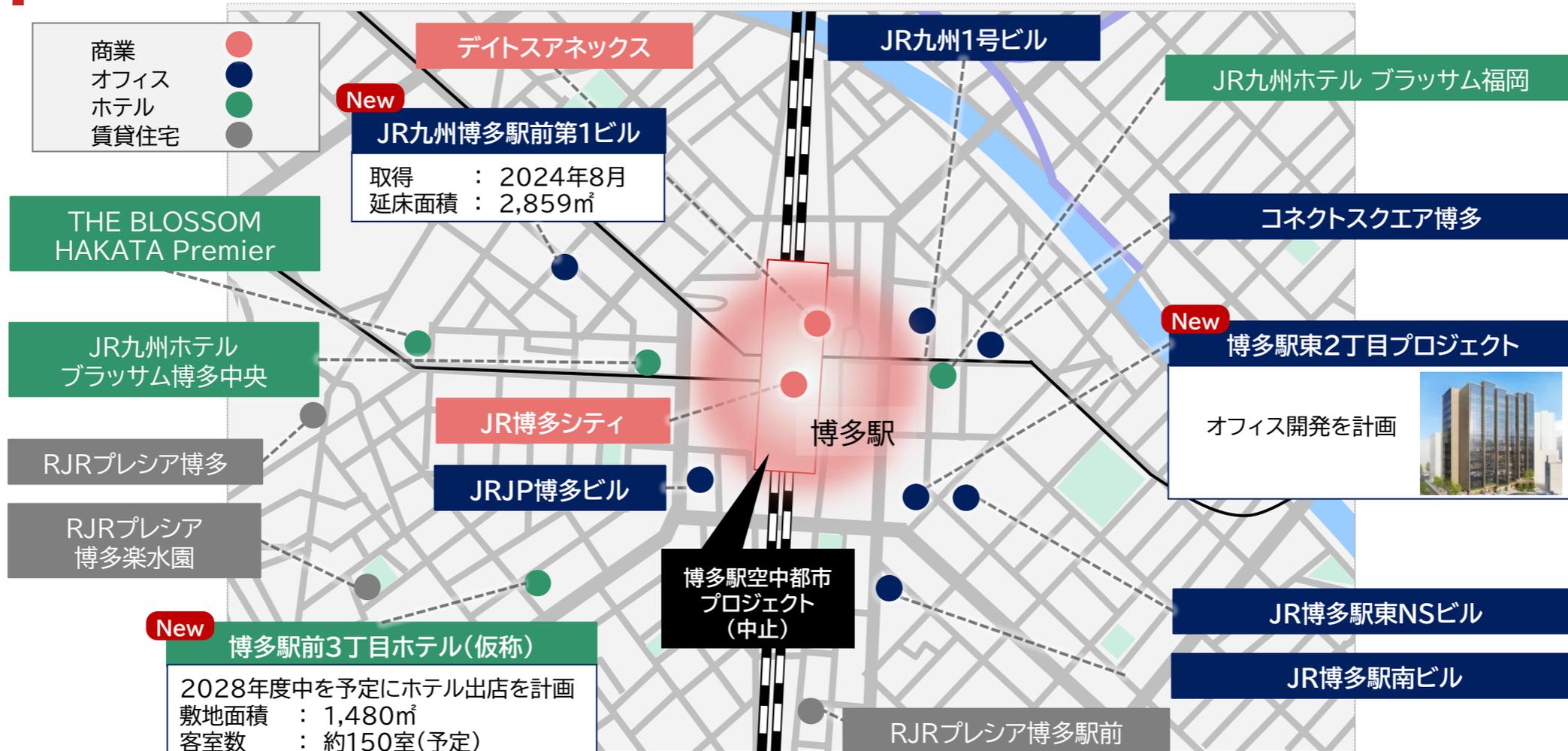
Q 今後の成長戦略を教えてください



# 博多駅空中都市プロジェクトの中止について

- 昨今の建築費高騰の影響を受けて、計画中止を決定。投資資金は他の成長投資へ分散投資を実施
- 博多駅周辺エリアは当社の最重要拠点であり、引き続き機会をとらえた投資を継続していく

## 博多駅周辺における主な不動産案件



※RJRプレシア博多、RJRプレシア博多楽水園、RJRプレシア博多駅前はJR九州プライベートリート投資法人にて資産保有、JRJP博多ビル、コネクトスクエア博多は資産を他社と共有、JR九州ホテル ブラッサム博多中央は建物賃貸借にて運営



## 重点戦略② 事業間連携の強化によるまちづくり | 物流不動産の取り組み

- 福岡エリア・鳥栖エリアにおいて、新たな物流施設の開発に着手

### LOGI STATION 福岡箱崎

- 博多港に面した箱崎ふ頭内に位置し、国際貨物の保管に優れたエリア
- 「貝塚IC」から約1km。九州全域への広域輸送が可能な物流拠点としての需要を見込む
- 吉田海運ロジソリューションズとの共同事業

所在地 : 福岡県福岡市  
 敷地面積 : 約 9,502㎡  
 延床面積 : 約17,999㎡  
 構造規模 : 鉄骨造 地上3階建(冷凍冷蔵倉庫)  
 竣工 : 2027年3月(予定)  
 ※開業は2027年11月予定



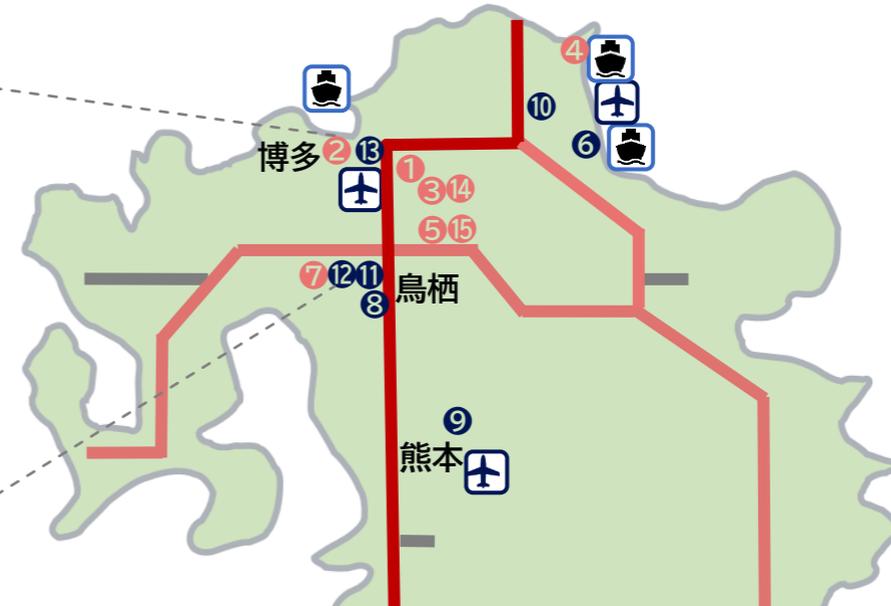
### LOGI STATION 鳥栖 I

- 「鳥栖IC」から約2km、「小郡鳥栖南スマートIC」から約1.5kmに位置。広域物流拠点としての需要を見込む

所在地 : 佐賀県鳥栖市  
 敷地面積 : 約15,720㎡  
 延床面積 : 約16,233㎡  
 構造規模 : 鉄骨造 地上2階建  
 竣工 : 2027年1月(予定)



自動車道  
 -九州自動車道 ■  
 -長崎自動車道、大分自動車道、東九州自動車道 ■  
 -その他 ■



| 九州内物流不動産   |  |   |                   |            |   |                                |
|------------|--|---|-------------------|------------|---|--------------------------------|
| 九州内物流不動産   |  | ① | 福岡北物流センター         | (約11,684㎡) | ⑧ | サザン鳥栖クロスパーク開発事業 (未定)           |
| ( )内、延床面積  |  | ② | 箱崎心頭物流施設          | (約25,657㎡) | ⑨ | LOGI STATION 熊本菊池開発 (約16,815㎡) |
| -稼動中 ● 9件  |  | ③ | 須恵第一物流センター        | (約12,398㎡) | ⑩ | LOGI STATION 小倉東開発 (約32,696㎡)  |
| -開発中等 ● 6件 |  | ④ | 新門司物流施設           | (約16,784㎡) | ⑪ | LOGI STATION 鳥栖Ⅱ開発 (約21,254㎡)  |
| *2026年2月現在 |  | ⑤ | LOGI STATION 福岡小郡 | (約85,424㎡) | ⑫ | LOGI STATION 鳥栖Ⅰ開発 (約16,233㎡)  |
|            |  | ⑥ | LOGI STATION 福岡苅田 | (約15,946㎡) | ⑬ | LOGI STATION 福岡箱崎 (約17,999㎡)   |
|            |  | ⑦ | 神埼物流施設            | (約 9,242㎡) | ⑭ | 須恵第二物流センター (約 5,305㎡)          |
|            |  |   |                   |            | ⑮ | 小郡物流センター (約13,144㎡)            |



Q 赤字ローカル線の状況を  
教えてほしい

# 重点戦略① サステナブルなモビリティサービスの実現 | 線別収支の開示

- 平均通過人員が2,000人/日未満の線区について収支を公表
- 指宿枕崎線(指宿・枕崎間)に続き、「日南線(油津・志布志間)の将来を考える会議」の第1回会議を2025年10月に開催



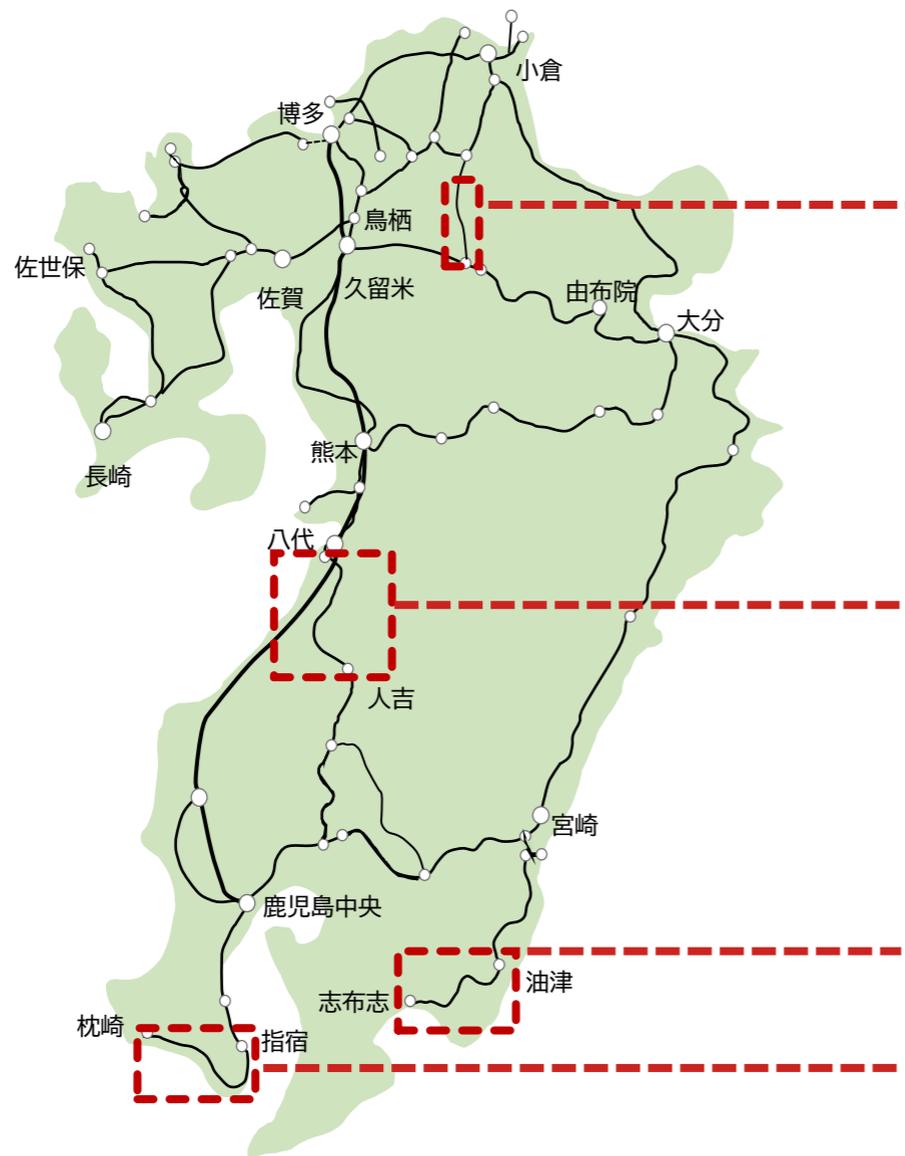
A 1,000人/日未満の線区  
 B 1,000人/日以上2,000人/日未満の線区

| No. | 線名    | 区間        | 営業キロ (Km) | 2024年度 営業損益 (百万円) | 【参考】平均通過人員(人/日) |         |      |
|-----|-------|-----------|-----------|-------------------|-----------------|---------|------|
|     |       |           |           |                   | 1987年度          | 2024年度※ | 減少率  |
| ①   | 日豊本線  | 佐伯～延岡     | 58.4      | ▲558              | 3,428           | 941     | ▲73% |
|     |       | 都城～国分     | 42.2      | ▲338              | 2,029           | 1,473   | ▲27% |
| ③   | 筑肥線   | 唐津～伊万里    | 33.1      | ▲171              | 728             | 218     | ▲70% |
| ④   | 宮崎空港線 | 田吉～宮崎空港   | 1.4       | ▲4                | —               | 1,883   | —    |
| ⑤   | 筑豊本線  | 桂川～原田     | 20.8      | ▲125              | 2,981           | 389     | ▲87% |
| ⑥   | 日田彦山線 | 田川後藤寺～添田  | 9.5       | ▲167              | 2,447           | 554     | ▲77% |
| ⑦   | 後藤寺線  | 新飯塚～田川後藤寺 | 13.3      | ▲266              | 1,728           | 1,445   | ▲16% |
| ⑧   | 唐津線   | 唐津～西唐津    | 2.2       | ▲168              | 1,315           | 884     | ▲33% |
| ⑨   | 豊肥本線  | 肥後大津～宮地   | 30.8      | ▲274              | 2,711           | 1,131   | ▲58% |
|     |       | 宮地～豊後竹田   | 34.6      | ▲407              | 1,028           | 218     | ▲79% |
|     |       | 豊後竹田～三重町  | 23.9      | ▲192              | 2,384           | 904     | ▲62% |
| ⑩   | 肥薩線   | 八代～人吉     | 51.8      | —                 | 2,171           | -(414)※ | —    |
|     |       | 人吉～吉松     | 35.0      | —                 | 569             | -(106)※ | —    |
|     |       | 吉松～隼人     | 37.4      | ▲284              | 1,109           | 501     | ▲55% |
| ⑪   | 三角線   | 宇土～三角     | 25.6      | ▲313              | 2,415           | 899     | ▲63% |
| ⑫   | 吉都線   | 都城～吉松     | 61.6      | ▲400              | 1,518           | 392     | ▲74% |
| ⑬   | 指宿枕崎線 | 指宿～枕崎     | 42.1      | ▲492              | 942             | 216     | ▲77% |
| ⑭   | 日南線   | 田吉～油津     | 44.0      | ▲656              | 2,129           | 984     | ▲54% |
|     |       | 油津～志布志    | 42.9      | —                 | 669             | -(179)※ | —    |
| 合計  |       |           |           | ▲4,814            |                 |         |      |

※ ピンクの網掛けは「線区活用に関する検討会」対象線区  
 ※ 紫色の網掛けは2025年7月24日に検討会を終了した線区  
 ※ 運休区間等を含むため参考値として、( )内に被災前年度の平均通過人員を記載

## 重点戦略① サステナブルなモビリティサービスの実現 | ローカル線の取り組み

- 将来のローカル線のあり方に関する議論を沿線自治体と推進
- 2023年8月に開業した日田彦山線BRTひこぼしラインは、鉄道時代を上回るご利用状況が継続



### 日田彦山線BRTひこぼしライン(添田～夜明・日田)



- 災害により不通となっていた区間をBRTで復旧
- 通学時間帯は学校付近を通るルート設定にすること等により、鉄道時代を上回るご利用状況が継続

### 肥薩線(八代～人吉)

- 令和2年7月豪雨により運転を見合わせている八代～人吉間について、観光需要と日常利用創出に資する20の具体施策を取りまとめたアクションプランが示され、上下分離方式についても整理されたことから、鉄道で復旧することについて最終合意
- 復旧に向けた機運醸成の取り組みや、今後の利活用施策の推進を目的に、熊本県や沿線自治体と当社で構成される「JR肥薩線復興アクションプラン推進会議」を2025年7月に開催

### 日南線(油津～志布志)

- 日南線(油津～志布志)における将来の地域交通のあり方について、「日南線(油津・志布志間)の将来を考える会議」を設置

### 指宿枕崎線(指宿～枕崎)

- 指宿枕崎線(指宿～枕崎)において、「指宿枕崎線の将来のあり方に関する検討会議」を設置

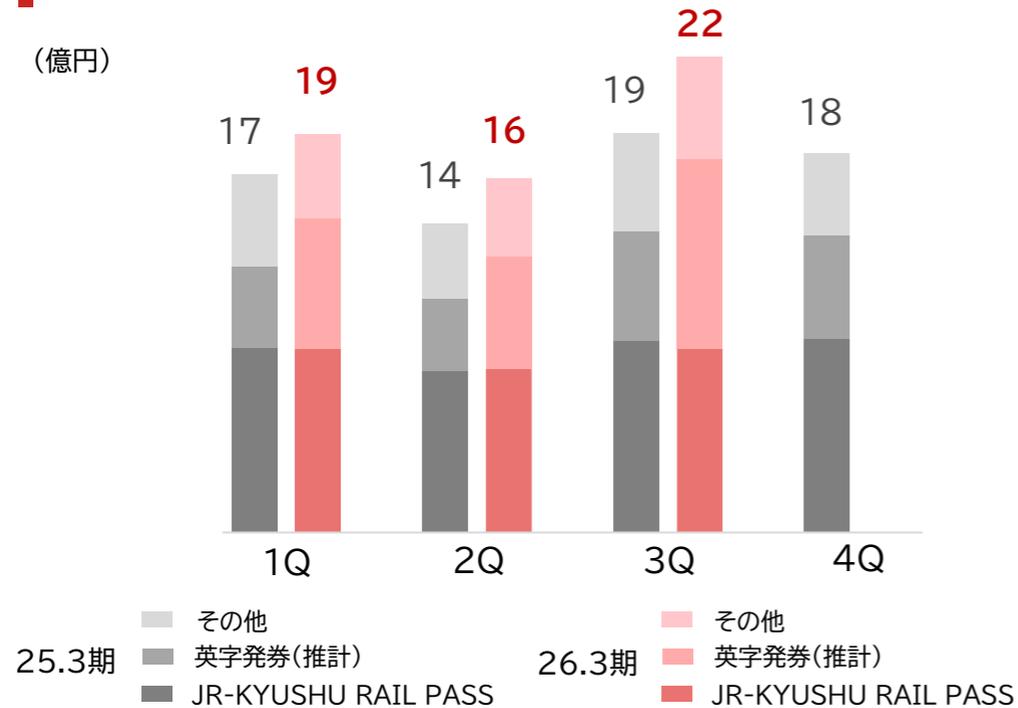


**Q** 中国人観光客の動向など、  
インバウンドの状況について  
教えてほしい

# 鉄道事業におけるインバウンドの状況

- 26.3期3Qのインバウンド収入は、JR九州レールパスから通常のきっぷへの転移が引き続き見られ、全体では前年を上回る水準で想定通りに推移

## インバウンド収入(概算)の推移



## 鉄道旅客運輸収入に占める割合

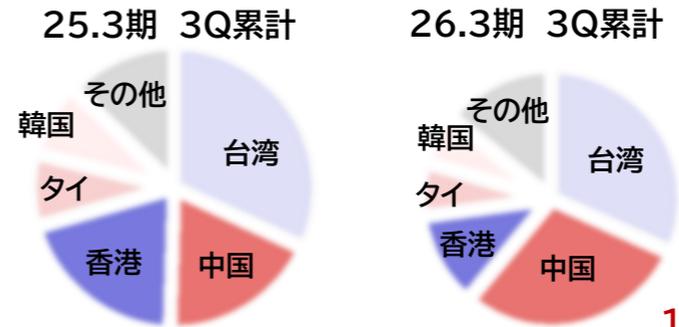
|         | 1Q   | 2Q   | 3Q   | 4Q   | 通期   |
|---------|------|------|------|------|------|
| 2025.3期 | 4.8% | 4.0% | 4.8% | 4.8% | 4.6% |
| 2026.3期 | 4.7% | 4.0% | 5.0% | -    | -    |

## JR-KYUSHU RAIL PASSの需要動向

|          | 25.3期<br>3Q累計 | 26.3期<br>3Q累計 |         |
|----------|---------------|---------------|---------|
|          | 実績            | 実績            | 25.3期比  |
| 販売数      | 20.5 万枚       | 16.9 万枚       | 82.3 %  |
| 売上       | 28.4 億円       | 28.1 億円       | 98.8 %  |
| (参考) 単価※ | 約13,800 円     | 約16,500 円     | 120.0 % |

※ JR-KYUSHU RAIL PASS 1枚当たりの平均単価

## 地域別販売先



## 価格の変遷(北部九州3日間)





# 不動産・ホテルセグメント | ホテル事業

- 26.3期3Qは、引き続きインバウンド比率が高いホテルが牽引し、ADR・稼働率ともに想定を上回り推移

【実績】

(単位:億円)

|        | 2025年3月期<br>3Q累計実績 | 2026年3月期<br>3Q累計実績 | 対前年 |        |
|--------|--------------------|--------------------|-----|--------|
| 営業収益   | 242                | 257                | 15  | 106.3% |
| 営業利益   | 58                 | 61                 | 3   | 106.0% |
| EBITDA | 83                 | 89                 | 6   | 107.6% |

【業績予想】

(単位:億円)

|        | 2025年3月期<br>実績 | 2026年3月期<br>通期予想 | 対前年 |        |
|--------|----------------|------------------|-----|--------|
| 営業収益   | 322            | 333              | 10  | 103.3% |
| 営業利益   | 68             | 71               | 2   | 104.3% |
| EBITDA | 102            | 107              | 4   | 104.2% |

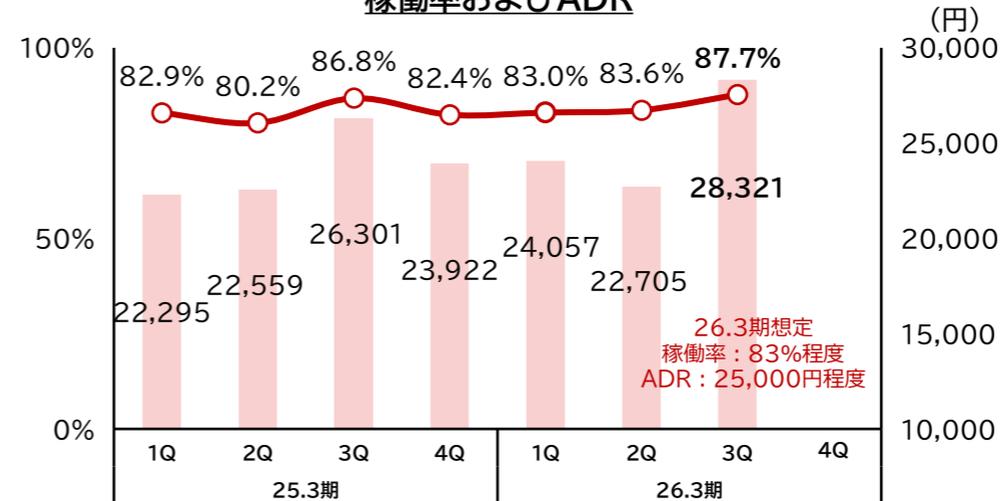
## 主な事業の状況

- 3QのADRは28,000円程度、稼働率は87.7%と想定を上回って推移
- インバウンド比率は55%程度で推移。中国政府による渡航自粛勧告の影響は限定的

インバウンド比率推移(総販売室数ベース)



稼働率およびADR





## 将来の見通しに関する記述について

---

本資料には、JR九州グループの見通し・目標等の将来に関する記述がなされています。

これらは、本資料の作成時点において入手可能な情報、予測や作成時点における仮定に基づいた当社の判断等によって記述されたものであります。そのため、今後、国内外および九州の経済情勢、不動産市況、各プロジェクトの進捗、法令規制の変化、その他の幅広いリスク・要因の影響を受け、実際の経営成績等が本資料に記載された内容と大きく異なる可能性があることにご留意ください。

弊社IR関連資料は、弊社ホームページでご覧いただけます。

JR九州ホームページ

<https://www.jrkyushu.co.jp/company/ir/library/earnings/>



ありがとうございました